学校番号	120

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ(必)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新選日本史Ｂ」　（東京書籍）						
副教材等	図説日本史通覧　（帝国書院編集部）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史上の出来事に「どうしてそうなったのか」という視点を持つ。
・図版、映像、年表、世界の諸事情などを踏まえ理解を深め、考察を文章化する。
・定期試験の事前学習に取り組み、提出物の期限を守る。

2　学習の到達目標

・わが国の歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連付けて、総合的に判断する。
・各時代の特色とその変遷を考察し、日本の文化と伝統の特色について認識を深める。
・歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質、公平な判断力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古代～現代の政治･外交を中心とする日本の歴史への関心を高め、意欲的に追求する。また、国際社会や国､地域を形成する主体としての自覚を持ち諸事象を考える態度を身につける。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し､国際環境等と関連付けて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	古代～現代の政治･外交を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択することができる。また、図表などにまとめることができる。	古代～現代の政治･外交を中心とする日本の歴史の基本的な事柄を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解し、知識を身につけている。
評価方法	提出物（ワークシート、振り返りシート、ノートなど）	定期考査 提出物（ワークシート、主題学習[論述課題]、ノートなど）	定期考査 提出物（ワークシート、振り返りシート、ノートなど）	定期考査 提出物（ワークシート､主題学習[論述課題]、ノートなど）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	古代国家の形成と貴族文化の誕生	・原始社会の生活と文化 ・農耕社会の形成と大陸文化の摂取	○	○	○	○ ○	a:古代文化や社会の特色、大和王権の成立過程に関心を持ち、日本列島における政治的・地理的統合が進んだ歴史的背景および支配制度の特色について課題を設定し、意欲的に追及しようとしている。 b:古代社会の特色について、自然環境の変化や出土資料などから考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:遺跡から出土した土器や石器などの遺物を観察し、情報を正確に読み取っている。また、中国との交渉についても文献資料から情報を正確に読み取っている。 d:農耕の始まりが社会に及ぼした影響を理解し、小国家群の成立について知識を身につけている。	定期考査 提出物
		・律令国家の形成と古代文化の展開	○	○	○	○	a:律令国家が形成されていく過程に関心をもち、律令国家に関わる課題を意欲的に追求しようとしている。 b:中央集権的な律令国家の確立のため、大きな変革が必要とされた歴史的背景を考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:律令国家形成に向けた課題についてさまざまな史料から情報を読み取るとともに、官制図などから律令国家の仕組みの特色について必要な情報を収集する。 d:律令国家の形成にいたる大きな政治的出来事について理解し、律令国家の仕組みに関する知識を身につける。	

1学期		・摂関政治と文化の和様化	○	○	○	○	a:平安時代の政治・外交について関心をもち、諸課題を意欲的に追求しようとしている。 b:大陸文化を吸収し日本の風土や生活に適応した新たな文化が生まれたことを考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:諸家の系図や年表を適切に読み取ることで平安期の権力抗争を理解し、歴史の流れを整理できている。 d:平安時代の政治の特色について理解し、武士の台頭に関する基礎的な知識を身につけている。	
	武家社会の形成と生活文化のめばえ	・中世社会の成立 1　平氏政権の登場 2　鎌倉幕府の誕生	○	 ○	○ ○	○ ○	a:武士政権が成立した歴史的背景に関心をもち、さまざまな資料から武士の姿を意欲的に　追求しようとしている。 b:武士政権が成立した意義を自らの言葉で表現しようとしている。 c:古文書や絵画資料から、当時の武士の生活を考察し、必要な情報を正確に読み取っている。 d:武士政権の成立にいたるまでの社会の動向変化を理解し、平氏政権・鎌倉幕府に関する知識を身につけている。	
		・中世社会の成立 3　執権による政治 4　元寇と社会の変貌	○ ○	○	○ ○	○ ○	a:幕府内の権力抗争と１３世紀の東アジアについて関心をもち、意欲的に追求しようとしている。 b: 執権政治の確立とその意義について、自らの言葉で表現している。 c:世界地図を参照し、モンゴル帝国に関する情報を正確に読み取っている。 d:鎌倉幕府の滅亡後、南北朝の動乱を経て室町幕府が成立していく過程について理解している。	

2学期	武家社会の形成と生活文化のめばえ	・武家社会の形成と東アジア 1　室町幕府の創設 2　倭寇と東アジアの交易 3　下剋上の社会と戦国大名	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:室町時代の政治・外交について関心をもち、諸課題を意欲的に追求しようとしている。 b:琉球・蝦夷地との関係を含めて、世界史的視野からアジア世界をとらえようとしている。 c:戦国大名の領国と、それぞれの領国経営の特徴を、地図や表にまとめて整理している。 d:室町時代の政治の特色について理解し、戦国大名の台頭に関する基礎的な知識を身につけている。	
	近世社会の形成と庶民文化の展開	・ヨーロッパ文化との接触と国内統一 1　ヨーロッパ文化との接触 2　織豊政権による全国統一	○	 ○	○ ○	○ ○	a:ヨーロッパ文化と接触した歴史的背景に関心を持ち、国内統一の過程で実施された政策がもたらした社会的変革に関する課題を、意欲的に追求しようとしている。 b:全国統一が完成した社会的意義を考察し、大航海時代という世界史的視野に立ち、当時の日本について自らの言葉で述べることができる。 c:大航海時代におけるヨーロッパ諸国の動向について、当時の世界地図から必要な情報を読み取っている。 d:織豊政権の諸政策を理解し、従来の社会の仕組みとの違いについて考察し、基本的な知識を身に付けている。	
		・幕藩体制の成立 1　江戸幕府と大名・朝廷 2　身分制度の確立 3　キリスト教禁止と鎖国	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a:関ヶ原の戦いから江戸幕府の成立にいたる過程について、意欲的に追求しようとしている。 b:　幕府の職制と、大名や朝廷寺社の統制、身分制度などに関して、表などを用いて整理することができる。 c:世界地図や絵画資料をもとに、１６世紀の国際関係について理解し、必要な情報を読み取っている。 d:貿易統制と禁教を学ぶと同時に、オランダや中国、朝鮮、アイヌの人々と交易がおこなわれていたことに関して基礎的な知識を身につけている。	

2学期	近世社会の形成と庶民文化の展開	・幕府政治の進展	○	○	○	○	a:武断政治から文治政治に転換した意義を意欲的に追及しようとしている。 b:幕府による農民統制と、農村における自治について理解し、適切に表現することができる。 c:文書史料の内容や語句の意味を正確に読み取っている。 d: 自然科学の発達や農書の広がりの背景について考察し、理解している。	
		・幕藩体制の動揺と庶民文化の発達 1　幕藩体制の動揺と政治改革 2　幕藩体制の危機	○ ○	○	○	○ ○	a:財政再建などを目的とした諸改革について意欲的に学ぼうとしている。 b:１８世紀の内外の危機や情勢の変化について、世界史的視野を持ち適切に表現することができる。 c: 文書史料の内容や語句の意味を正確に読み取っている。 d:自然災害や飢饉の発生が、社会の動向に影響を及ぼしたことを理解し、諸改革に関する知識を身に付けている。	
3学期	近代国家の形成と国民文化の発展	・「日本史Ａ」の総復習（政治・外交中心）	○	○	○	○	a:日本の近代化を推進した諸改革や人物について関心を持ち、意欲的に追及しようとしている。 b: 世界大戦の背景にある課題を考察し、戦後の「国際社会への復帰」「高度経済成長と第１次石油危機の発生」について、自らの言葉で適切に表現できる。 c:グラフや写真、文献資料などから、近現代におけるアジア諸地域や欧米諸国と日本の関係について、必要な情報を正確に読み取っている。 d:第２次世界大戦後の国際秩序と日本の役割について考察し、理解を深めている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。